

新報

島根県教育庁
隠岐教育事務所
隠岐の島町瀬戸口24
電話 2-9772

新年度にあたり

所長 有木健二

新年度が始まり、各学校・職場におかれましては教育活動が本格化したことと思います。

本年度、隠岐教育事務所では次の重点を設け、訪問や研修を通して学校教育・社会教育それぞれの充実と連携を図ってまいります。

学校教育の重点

◇生徒指導

①積極的な生徒指導を推進する。

②「チームとしての学校」づくりを重視した生徒指導体制の充実を図る。

◇特別支援教育

①校内体制の充実を図る。

②ねらいの明確化とわかる授業づくりを目指す。

③「つなぐ・つながる」連携を重視し一貫した支援を行う。

④理解啓発に積極的に取り組む。

◇授業力向上

①支え合い高め合う集団づくりを進め、児童生徒の学習意欲の向上を図る。

②新学習指導要領の先行実施及び移行措置を意識した授業づくりを行う。

◇特別活動

①系統的なキャリア発達を促す取組を充実させる。

②話し合い活動を中心とした自主的・実践的な活動の推進を図る。

社会教育の重点

◇ふるさと教育の充実

①小中九年間を通じた系統的・発展的な「ふるさと教育」を支援する体制の充実を図る。

②学校と地域が連携協力して進めるふるさと教育推進体制の構築を図る。

◇学校・家庭支援体制の整備

①地域全体で子供たちを育む体制づくりを推進する。

②地域全体で家庭教育を支援する気運を醸成する。

◇地域を担う人材の育成

①人づくりの拠点としての公民館機能の強化、公民館活動の充実を図るために支援する。

②各町村の地域リーダーをバランスよく、計画的に養成する。



本年度も隠岐以外の地域から教員の異動、新規での採用などがあり、それぞれの学校で新しい風が吹いていると思います。また、島前島後の人事交流によっても同様のことが起こっています。人事異動の目的の一つはそこにあり、教職員の行き来が教育活動を活性化すると思います。また、地域や職場において

でも、島外や町村間での人の出入りによる価値観の変わりや新たな取組が地域づくりや大人社会の成熟を促進していくと思います。今まで脈々と受け継がれている文化や産業も、元をたどればこのような人の出入りによって生まれ受け継がれてきました。隠岐の発展には島外との人の行き来、島前島後の人の行き来

など人の交流・考え方や知識や技術の交流が欠かせないと改めて思います。隠岐のよさを受け継ぐ一方で、この春、学校に、職場に、地域に新たに吹いている風を大切にしながら、隠岐の学校教育・社会教育ともに一層魅力的になるようにと願っています。



平成30年度 隠岐教育事務所スタッフ

○所長	有木健二	2-9770
○総務課		
総務課長	宮原麻琴	2-9774
企画員	中西文江	2-9773
主事	花岡ひとみ(新)	2-9772
互助会嘱託	繁浪美穂	2-9779
臨時職員	大谷ひろみ(新)	2-9772
	(FAX)	2-9777
○学校教育スタッフ		
指導主事(企画幹)	渡部正嗣(新)	2-9771
指導主事(企画幹)	吉山明利	2-9778
指導主事	森美雪(新)	2-9778
指導主事(生徒指導担当)	新谷慎太郎	2-9776
指導主事(特別支援教育担当)	加多弥生	2-9775
指導主事(特別支援教育支援専任教員)	野津保	2-9775
指導主事	増本邦雄(隠岐の島町派遣)	
指導主事	濱純平(海士町派遣・新)	
指導主事	塚本潔(西ノ島町派遣)	
指導主事	福山弘子(知夫村派遣・新)	
○社会教育スタッフ		
社会教育主事(企画幹)	林明範	2-9776
社会教育主事	稲葉泰範(隠岐の島町派遣・新)	
社会教育主事	山下裕次(海士町派遣)	
社会教育主事	木下浩秋(西ノ島町派遣)	
社会教育主事	兵馬稚比呂(知夫村派遣)	